



平成 27 年 1 月 30 日

各 位

本社所在地 東京都港区赤坂八丁目 4 番 14 号  
 会 社 名 ブロードメディア株式会社  
 (コード番号: 4347)  
 代 表 者 代表取締役社長 橋 本 太 郎  
 問 合 せ 先 取 締 役 植 村 保 彦  
 管 理 本 部 長  
 電 話 番 号 03-6439-3983

業績予想の修正及び  
 たな卸資産評価損、営業外費用、特別損失の計上  
 並びに役員報酬減額に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 10 月 28 日に公表した平成 27 年 3 月期通期の業績予想を修正し、平成 27 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）において、たな卸資産評価損、営業外費用（持分法による投資損失）及び特別損失（貸倒引当金繰入額）を計上いたしましたのでお知らせいたします。

また、役員報酬減額を決定いたしましたので、併せてお知らせいたします。

1. 記平成 27 年 3 月期通期 連結業績予想数値の修正

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	12,000	△660	—	—	—
今回修正予想(B)	12,000	△1,120	—	—	—
増減額 (B-A)	—	△460	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
( 参 考 ) 前 期 実 績 ( 平 成 2 6 年 3 月 期 )	12,301	△618	△1,134	△777	△11.93

2. 連結業績予想修正の理由

<売上高>

売上高は、全体では概ね前回修正した予想通りに推移しているため、前回発表の予想を据え置きます。

<営業利益>

「コンテンツ」セグメントのクラウドゲーム事業において、当第 3 四半期にゲーム機等の在庫

の評価減を行い、たな卸資産評価損 487 百万円を売上原価に計上いたしました。

また、「スタジオ」セグメントは、第 4 四半期に黒字化することを見込んでおりますが、第 3 四半期における業績の下振れの影響が大きく、通期では前回予想を下回る見込みとなりました。

これらの理由により、通期における営業損失は、前回発表の予想よりも拡大する見通しとなりました。

#### <経常利益>及び<当期純利益>

前回発表時と同様に、G クラスタ・グローバル株式会社（以下、GCG 社）及び湖南快樂垂釣發展有限公司における業績見込みの不確実性が高く、その業績が反映される経常利益及び当期純利益は予想が困難なため、引き続き開示を控えさせていただきます。

#### 【参考】

通期連結業績予想のセグメント別内訳は以下の通りです。

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B)－(A)	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B)－(A)
合計	12,000	12,000	—	△660	△1,120	△460
コンテンツ	2,200	2,200	—	△700	△1,090	△390
放送	4,500	4,500	—	300	330	30
スタジオ	2,700	2,700	—	△75	△195	△120
技術	1,400	1,400	—	30	30	—
ネットワーク営業	1,200	1,200	—	△215	△195	20

※ 上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。特に、クラウドゲーム事業の状況によって大きく変動する可能性があります。

#### 3. たな卸資産評価損の計上について

「コンテンツ」セグメントのクラウドゲーム事業では、一定の事業進捗を見せておりますが、当初の想定よりも収益化が遅れております。そのため当社が保有するゲーム機等の在庫について評価減が必要と判断し、たな卸資産評価損 487 百万円を売上原価に計上いたしました。

#### 4. 営業外費用（持分法による投資損失）の計上について

持分法適用関連会社の純損失の当社持分等を投資損失として 392 百万円計上しております。これは主に GCG 社において純損失が計上されたことによるものです。

さらに、GCG 社の事業進捗が当初の計画より遅れており、投資回収が困難であると判断し、同社株式に係る「のれん」の全額にあたる 609 百万円について減損処理を行いました。

この結果、平成 27 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間における、持分法による投資損失は 1,001 百万円となりました。

5. 特別損失（貸倒引当金繰入額）の計上について

4.に記載の「のれん」の減損処理と同様の判断に基づき、GCG社への貸付金311百万円について、貸倒引当金を設定いたしました。

また、当社の取引先への貸付金について、返済の遅延等が生じていることから、回収可能性を保守的に判断した結果、貸付金159百万円について貸倒引当金を計上いたしました。

6. 役員の報酬減額について

業績予想の下方修正及び当第3四半期に実施した減損処理等に対する、経営責任を明確にするため、役員の報酬を減額いたします。

(減額の内容)

代表取締役	月額報酬の50%を減額
取締役	月額報酬の20%~5%を減額

(対象期間)

平成27年3月から平成27年8月まで(6カ月間)

以上

〈本件に関するお問い合わせ先〉ブロードメディア株式会社 IR担当 TEL. 03-6439-3983